

dBTechnologies

RNet Control 8







RNet コントロールインターフェース

取扱説明書









安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。 お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>専用の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災/感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災/感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。 内部の点検/修理はお買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災/感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、専用の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>
 注意	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
商標および著作権に関して.....	4
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
別売りアクセサリ.....	4
本書の表記.....	4
設置上の注意.....	5
アフターサービス.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
ユーザー登録について.....	5
本機の概要.....	6
主な機能.....	6
用途.....	6
構成.....	6
サブネット接続.....	6
各部の名称.....	7
各種ソフトウェアについて.....	8
dBTechnologies AURORA NETについて.....	8
dBTechnologies AURORA NETソフトウェアの ダウンロード先.....	8
ダウンロードとインストール方法.....	8
dBTechnologies Networkについて.....	8
dBTechnologies Networkソフトウェアの ダウンロード先.....	8
ダウンロードとインストール方法.....	8
ソフトウェアの動作環境.....	9
ソフトウェアの使用に関して.....	9
仕様.....	9
一般.....	9
寸法図.....	10

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック 株式会社の登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、macOS、iPad および App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Neutrik は、Neutrik AG の登録商標です。また、powerCON および TRUE 1 は、Neutrik AG の商標です。
- dBTechnologies は、米国および他の国々における AEB INDUSTRIALE s.r.l. の登録商標です。(※ 日本のディービーテクノロジー株式会社とは関係ありません。)
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、dBTechnologies RDNet Control 8をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 取扱説明書（日本語）は、以下の TASCAM のウェブサイトからダウンロードすることができます。

[<https://tascam.jp/jp/>]

- 最新版の取扱説明書（英語）については、dBTechnologies のウェブサイトのダウンロードページから、**Software & Controller** の項目を選択して、“**CONTROL 8**”の上段“**Manuals**”の列から対象となる PDF ファイルをダウンロードしてください。

[<https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/>]

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体（※）..... × 1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）..... × 1

※ 本体に電源コードは含みません。別売りとして専用品(DPC-200MJP)をお買い求めください。

別売りアクセサリ

- DPC-200MJP (Neutrik powerCON 付 電源コード)
- RDC-45M (6cm : RJ45 ↔ XLR 変換 ケーブル)
(RDNet RJ45端子からXLR(オス) 端子に変換します。)
- RDC-45F (6cm : RJ45 ↔ XLR 変換 ケーブル)
(RDNet RJ45端子からXLR(メス) 端子に変換します。)

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“**MAIN**”のように“**—**”で使って表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

設置上の注意

- 設置は、資格や経験を持った人（専門業者）が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 電源を入れる前に必ず、本機に接続している（または、接続する）各機器の音量レベルが、最小であることを確認して下さい。
- 本機の動作保証温度は、摂氏 0 度～ 40 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店 / ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (Control 8)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。

結露したときは、約 1～2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。

表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

dBTechnologies のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

- <https://www.dbtechnologies.com/en/support/register/>

本機の概要

RDNet Control 8 (以降、「Control 8」または「本機」と称します)は、RDNet システムと呼ばれる独自のネットワークインターフェースを搭載し、パソコン(以降、「PC」と称します)にRDNet 対応機器や周辺機器を接続できます。

主な機能

- 本機は、EIA RS-485 通信を利用した独自の通信 プロトコルで、RDNet システム 上の全体または RDNet 対応機器 (※ 1) の動作状態を周期的に PC 側から本機へ要求し、順次 スキャンされたデータをリアルタイムに監視 (※ 2) および編集 (※ 3) が可能です。

また、RDNet システム 上の全体または RDNet 対応機器から取得したデータを PC や SD カード (※ 4) に一つのファイルとして保存し、必要な時に読み込むことができます。

- 本機のインターフェースは、各種のソフトウェア (※ 5) を使用して、PC 側から様々なイコライジングの選択や、新しいイコライジングの作成、あるいは特定のプラグインを使用した音量の設定等や編集管理が可能です。

- RDNet システム 上の各機器のアドレス 指定は、システムの起動時に本機から自動的に実行されます。

- RDNet システムは、本機を使用して最大 256 台の RDNet 対応機器を Ethernet 接続 (遠隔時) または USB 接続 (ローカルエリア 時) を介して PC に接続し、管理可能なデータネットワークを構築します。

- Ethernet 接続は、PC が離れた場所にある場合や、既に敷設されている Ethernet LAN へ本機を接続する場合に便利です。

- USB 接続は、本機と PC を 1 対 1 でローカルエリア 接続する場合に使用します。PC 側の USB 端子が USB バージョン 1.1 または 2.0 以上が必要で、PC と本機の距離は、数メートル以内にすることがあります。

(USB 端子の代替えとして、Ethernet 端子を利用したローカルエリア接続も可能です。その際は、固定 IP を指定することも出来ます。)

- 本機の両 サイドのネジ 穴を使用して、標準の 19 インチラックに設置できます。

※ 1 : VIO シ リ ー ズ、VIO X シ リ ー ズ、DVA T シ リ ー ズ、OPERA UNICA シ リ ー ズ等

※ 2 : 出力レベル、VU メーター、温度、ログ、ステータス、リミッター等

※ 3 : 出力レベル、ミュート、イコライジング、ディレイ 等 (RDNet システム 上の RDNet 対応機器、全てのパラメーター値を専用ソフトウェアのプリセット 値と同期が可能です。)

※ 4 : 将来のバージョンアップで対応予定です。

※ 5 : dBTechnologies Network / dBTechnologies AURORA NET (Windows OS / Mac OS 対応) 等
ソフトウェア 詳細は、8 ページ「各種 ソフトウェア について」を参照してください。)

用途

- レンタル 用 ライブ 音響
- ポータブル PA、会議場、ライブ 会場
- クラブ、劇場、礼拝堂、企業のオーディオ / ビデオシステム 等の設備用途

構成

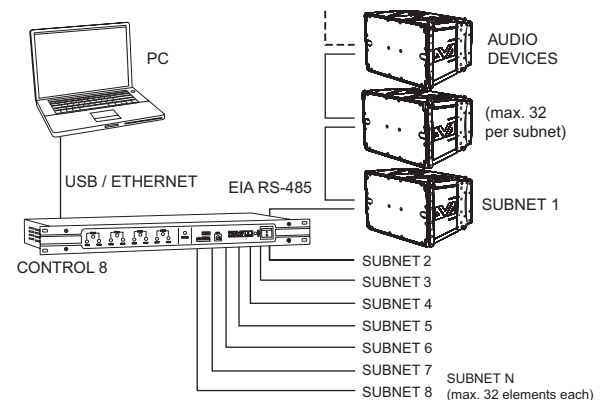
サブネット接続

本機背面の RDNet ポート (CH 1-8) に CAT 5 ケーブル (両端が RJ 45 端子) または バランス ケーブル (RJ 45 の代替として、両端が XLR 端子) で、RDNet 対応機器を デイジーチェーン 接続 (※) できます。

- ※ : XLR 端子を用いた接続の場合、RDNet 対応機器側に別売りの変換ケーブル (RDC-45 M あるいは RDC-45 F) の接続が必要となります。

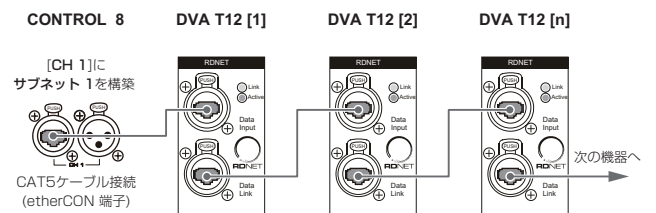
その デイジーチェーン 接続した構成を「サブネット」と称します。最大 8 システムのサブネットを管理できます。また、各サブネットに最大 32 台の機器が接続可能です。

- 各サブネットは、1ch に最大 32 台の RDNet 互換機器を接続可能 (1ch / 32 台 × 8ch = 合計 256 台)
- 各サブネットのアドレス 指定は、本機の起動時に デイジーチェーン 接続された近い順から [1 ~ 32] の番号割付を自動的に行います。



例 : 下図は、DVA T 12 を使用してサブネットを構築する場合を例とします。

[CH 1] の場合、CAT 5 ケーブルを使用して本機の [CH 1] RJ 45 端子から 1 台目の DVA T 12 [1] の Data input 端子に接続し、DVA T 12 [1] の Data Link 端子を経由して、2 台目の DVA T 12 [2] の Data input 端子にと、次の機器に デイジーチェーン 接続を行い、サブネット 1 を構築します。

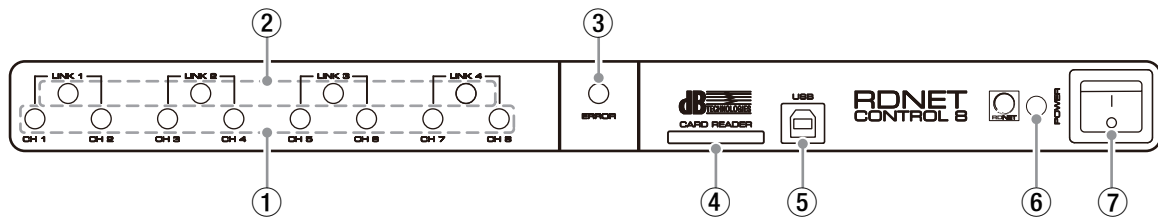


上図の右端の DVA T 12 [n] は、3 ~ 32 (最大) の数字になります。

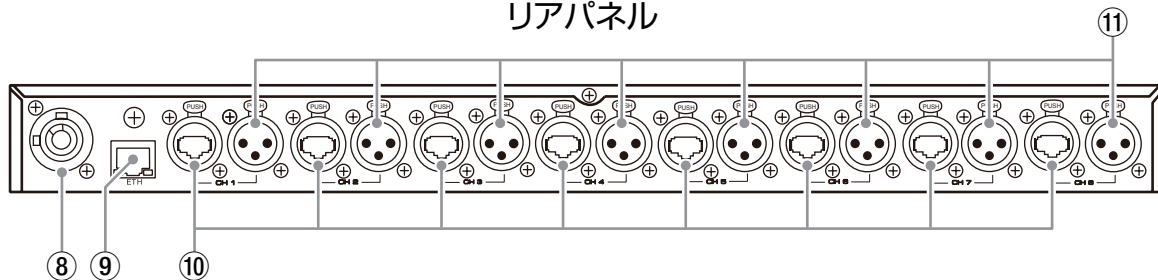
注意

- 各サブネットの CAT 5 ケーブルでの総延長は、最大で 900 メートルとなります。
- 同一チャンネルのサブネット内で、RJ 45 端子と XLR 端子の双方に混在した接続を絶対に行わないでください。
- サブネット用の RJ 45 端子 (etherCON 端子) と Ethernet 用の RJ 45 端子 (LAN 端子) の誤差しにご注意ください。

フロントパネル



リアパネル



① CH 1-CH 8 データ LED

本機の各チャンネル(CH 1-8)に、サブネット接続している各機器のデータ送受信が、正常に行われている場合、点滅表示します。

② LINK 1-4 リンク LED(※ 1)

本機の各チャンネル(CH 1-8)に、サブネット接続している各機器の隣接するチャンネル間(CH 1-2、CH 3-4、CH 5-6、CH 7-8)で、正常に動作している場合、点灯表示します。

③ ERROR LED

本機の各チャンネル(CH 1-8)にサブネット接続している各機器のデータ送受信に異常がある場合、点灯表示します。

④ SD カードスロット(※ 2)

本機の各チャンネル(CH 1-8)にサブネット接続している各機器のパラメーター(出力レベル、ミュート、イコライジング、ディレイ等)設定を PC 側から SD カードに保存や呼び出し可能です。

⑤ USB 端子 (B タイプ)

BタイプのUSBポートです。

本機とPCをUSBケーブル(Type-A ↔ Type-B)で接続します。

注意

PCとの接続は、USBハブを経由せずに直接、接続してください。

⑥ 電源 LED

本機の電源が ON の時、点灯表示します。

⑦ 電源 スイッチ

本機の電源を ON/OFF します。

※ 1、2：将来のバージョンアップで対応予定です。

⑧ 電源 スイッチ

AC 電源 端子(Neutrik 社製 powerCON 端子)

別売りのNeutrik 社製 powerCON 付電源コードを接続します。電源コードを接続して、プラグ端子を時計回りに回転させると端子がロックして、電源(AC 100V)を供給します。

注意

- 電源を入れる前に必ず、本機に接続している(または、接続する)各機器の音量レベルが、最小であることを確認して下さい。
- 電源コードは必ず、別売りのNeutrik 社製 powerCON 付電源コードをご使用ください
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

⑨ ETHERNET 端子

イーサネット端子です。

ネットワーク接続し、PCから本機を介してRDNet 互換機器を制御管理するのに使用します。

- USB 端子の代替えとして、Ethernet 端子を利用したローカルエリア接続が可能です。その際は、固定IPを指定することも出来ます。

⑩ RJ45 端子(※ 3)

サブネット構築用の端子(etherCON 端子)で、RDNet 対応機器のデジチェーン接続を行います。

(CAT5ケーブルを使用してください。)

⑪ XLR 端子(※ 3、※ 4)

サブネット構築用の端子(3 極 XLR 端子)で、RJ45 端子の代替えとして RDNet 対応機器のデジチェーン 接続を行います。(バランスケーブルを使用してください。)

※ 3：同一チャンネルのサブネット内で、RJ45 端子と XLR 端子の双方に混在した接続を絶対に行わないでください。また、Ethernet 用の RJ45 端子(LAN 端子)の誤差しにご注意ください。

※ 4：XLR 端子を用いた接続の場合、RDNet 対応機器側に別売りの変換ケーブル(RDC-45MあるいはRDC-45F)の接続が必要となります。

各種ソフトウェアについて

ここで紹介するソフトウェアは、Control 8で構成したネットワーク (RDNet ネットワーク) 上にある RDNet 対応機器の制御やパラメーターを管理編集が可能です。

システムを稼動中にリアルタイム・モニターや、異なるパラメーターに変更するなどの操作が可能になります。

さらに、RDNet 対応機器の詳細な設定や本体の操作部では、行えない項目までコントロール 可能です。

dBTechnologies AURORA NET について

本ソフトウェアは、Windows OS および Mac OS に対応しており、マウス 操作だけでなくタッチパネル 操作も可能です。

AURORA NET には、以下の機能があります。

- RDNet を使用したネットワーク 機器の制御
RDNet Control 8で構成されたシステムをネットワーク (RDNetネットワーク) 上で認識し、オンライン作業が可能です。
- オフライン 作業でプロジェクトの管理が可能
オフラインでプロジェクトの作成/ 編集/ 保存を行い、固定設備やライブ会場などでプロジェクトの読み込み/ 更新が可能です。

dBTechnologies AURORA NET ソフトウェアのダウンロード先

ダウンロードとインストール方法

まず、dBTechnologiesのウェブサイトで、お客様のユーザー登録(→ 5ページを参照)を行ってください。

ユーザー登録を完了し、ログインを行わないとソフトウェアのダウンロード先(MY DOWNLOADページ)に移動しません。

ダウンロード

ログイン 後、dBTechnologies の下記 ウェブサイトで本 ソフトウェアをダウンロードできます。

- <https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/>
ダウンロードページから "Software&Controller" の項目を開いて、上段の "Software" の列から Windows または Mac OS の圧縮 ファイル (Zip 形式) 選択すると、MY DOWNLOAD ページに移動します。

そのページから目的のファイル選択して、圧縮ファイルをダウンロードしてください。

インストール

- Windows
ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、自己解凍型のファイルを開き、現れたフォルダー内の setup.exe ファイルを開いてください。
- Mac OS
ダウンロードしたディスクイメージを開き、AURORA NET のアイコンをアプリケーションフォルダーにドラッグしてください。

注意

本ソフトウェアをダウンロード中は、PCの電源を切らないでください。故障の原因になります。

本ソフトウェアの β 版では、表示される全ての機器が使用できるとは限りません。

dBTechnologies Network について

本ソフトウェアは、Windows OS に対応しており、以下のモニター機能やパラメーターを設定することができます。

- 出力パワーモニター
- 内蔵 アンプの温度 モニター
- リミッター作動状況 モニター
- プリセット・イコライザーの選択
- 音量 レベルの設定

dBTechnologies Network ソフトウェアのダウンロード先

ダウンロードとインストール方法

まず、dBTechnologiesのウェブサイトで、お客様のユーザー登録(→ 5ページを参照)を行ってください。

ユーザー登録を完了し、ログインを行わないとソフトウェアのダウンロード先(MY DOWNLOADページ)に移動しません。

ダウンロード

ログイン 後、dBTechnologies の下記 ウェブサイトで本 ソフトウェアをダウンロードできます。

- <https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/>
ダウンロードページから "Software&Controller" の項目を開いて、上段の "Software" の列から圧縮 ファイル (Zip 形式) 選択すると、MY DOWNLOAD ページに移動します。

そのページから目的のファイル選択して、圧縮ファイルをダウンロードしてください。

- セットアップファイル
"dBTechnologies-Network_x_x_x_xxxx.exe.zip"
- ソフトウェア取扱説明書 (※)
"dBTechnologies-Network_Section_A_REV.x.x.pdf"
"dBTechnologies-Network_Section_B_REV.x.x.pdf"
"dBTechnologies-Network_Section_C_REV.x.x.pdf"

※ 英語版 (一部、[イタリア語/ 英語]の合本)

インストール

ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、自己解凍型のファイルを開き、現れたフォルダー内の setup.exe ファイルを開いてください。

セットアップファイルを解凍後、ソフトウェア取扱説明書の手順に従って操作してください。

注意

本ソフトウェアをダウンロード中は、PCの電源を切らないでください。故障の原因になります。

ソフトウェアの動作環境

本ソフトウェアは、Windows OS や Mac OS(※) 上で、動作可能なクロスプラットフォームです。

本ソフトウェアをご使用するにあたり、お使いのコンピューター(以下 PC と表記) のスペックは、下記の仕様が最小条件となります。また、大きなプロジェクトやタスクの内容によっては、より上位の PC が必要になります。

システム推奨条件 (Windows)

- OS : Windows 7 (SP1以降、64bitのみ)
- CPU : デュアルコアプロセッサ 以上
- メモリー : 4GB 以上を推奨

システム推奨条件 (Mac)(※)

- OS : OS X Yosemite (10.10以降、64bitのみ)
- CPU : デュアルコアプロセッサ 以上
- メモリー : 4GB 以上を推奨

また、上記の他に以下のデバイス機器用端子の装備が必要です。

- Ethernet 端子 (RJ45)

対応規格 : 100BASE-TX、1000BASE-T

- USB 端子 (USB 2.0 タイプ A)

対応規格 : USB 2.0 Hi Speed (480Mbps)

※ dBTechnologies AURORA NETのみ対応

ソフトウェアの使用に関して

- 本ソフトウェアは、AEB INDUSTRIALE s.r.l. に帰属し、使用に際しては、同社の定める使用許諾条件によります。
- 本ソフトウェアは、国際著作権法によって保護されており、dB Technologies RDNet システムを構成するために使用されるパソコン用ソフトウェアです。
- 本ソフトウェアを変更、変更、または逆コンパイルすることは許可されていません。
- dB Technologies(または AEB INDUSTRIALE s.r.l. およびティアック株式会社) は、本ソフトウェアの使用、またはこの製品の使用不能に起因するビジネス上の不利益、またはビジネス情報の損失に対して金銭的損害の有無に関わらず、いかなる損害についてもユーザーに対して責任を負わないものとします。上記の規定は、dB Technologies(または AEB INDUSTRIALE s.r.l. およびティアック株式会社) によって損害の可能性が通知されている場合でも有効です。
- ソフトウェアに重大かつ検証可能で再現可能なプログラムエラーがあった場合でも、dB Technologies(または AEB INDUSTRIALE s.r.l. およびティアック株式会社) はこれらのエラーを修正する義務を負わないものとします。

仕様

通信方式

スタンダードEIA RS-485

- 最大8サブネットまで管理可能

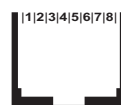
(各サブネットに最大32台のRDNet対応機を接続可能)

RDNet 接続 (CH1-CH8)

RJ45 端子 : etherCON 端子 × 8 (Neutrik 社製)

- CAT5 ケーブル使用(総延長 : Max 900m)

ピンアサイン



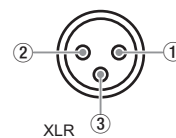
RJ 45

- 1 : RDNet 以外の用途 (例 : オーディオ信号+, HOT)
- 2 : RDNet 以外の用途 (例 : オーディオ信号-, COLD)
- 3 : RDNet 以外の用途 (例 : アナログ信号 GND)
- 4 : デジタル GND
- 5 : デジタル GND
- 6 : RDNet 以外の用途 (例 : 電源供給)
- 7 : RS 485 A
- 8 : RS 485 B

XLR (RJ45代替用) 端子 : 3極端子 × 8

- バランスケーブル使用

ピンアサイン



XLR

- ① : デジタル GND
- ② : RS 485 A
- ③ : RS 485 B

PC 接続

USB 接続 : USB 端子 (B タイプ)

LAN 接続 : RJ45 端子

一般

動作電源

電圧 : AC 100~240 V (自動切替式)
50/60 Hz

電源端子 : Neutrik 社製 powerCON 端子 × 1

消費電力

15W

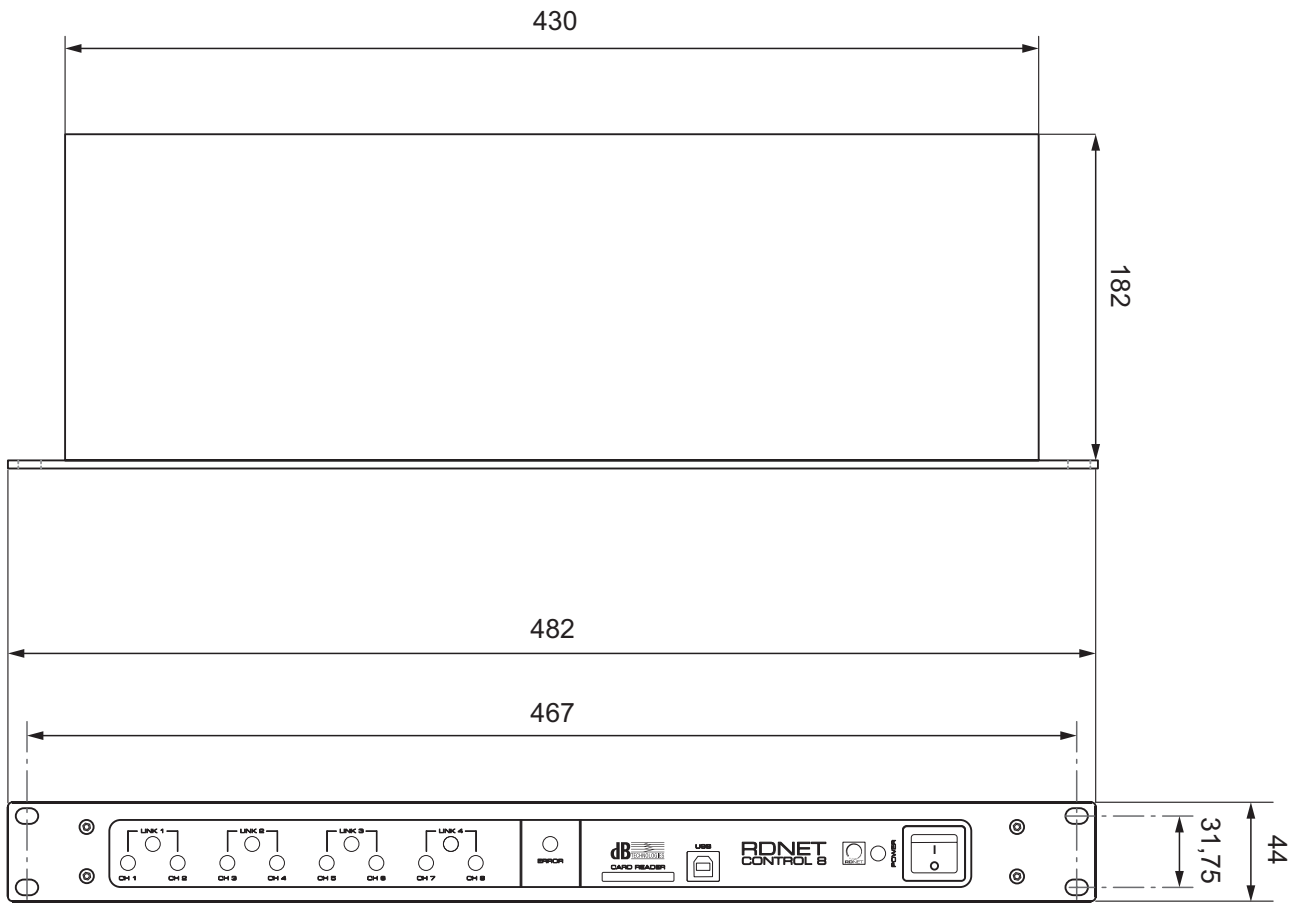
外形寸法

幅 482 × 高さ 44 × 奥行き 182 mm (突起部を含みます)

質量

2kg

寸法図





無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 本体の保証期間は、お買い上げの日から1年です。
3. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
4. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
5. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - (5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6)メンテナンス
- (7)本書の提示がない場合
- (8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

保証書

品名	dBTechnologies	
および 形名	Control 8	
機番		
保証期間	本体	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本製品が製造された日から起算して、お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	電

見本

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501(ナビダイヤル)/04-2901-1033

0919 MA-3014A